

和歌山県立医科大学皮膚科、大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学、神戸大学大学院医学研究科皮膚科学、川崎医科大学皮膚科学、久留米大学医学部皮膚科学に通院歴のある顆粒状 C3 皮膚症、類天疱瘡などの皮膚水疱性疾患の患者さんへ

2021 年 5 月 20 日

過去に提供いただいたもしくは今後提供いただく試料・情報を、顆粒状 C3 皮膚症の病態解明を目的として計画された下記研究課題に使用させていただきます。その概要を記載いたしますので、この研究課題についてご質問・ご相談等がございます場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご自身が提供された試料・情報をこの研究課題に対して利用・提供してほしくないと思われました場合にも、問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた際は、その試料・情報の利用を停止します。

研究課題名

全国疫学調査に基づく顆粒状 C3 皮膚症の疾患概念の確立と病態解明

研究責任者

足立 淳：医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所

プロテオームリサーチプロジェクト プロジェクトリーダー

共同研究機関の研究責任者

神人 正寿：和歌山県立医科大学皮膚科 教授

本研究の目的

顆粒状 C3 皮膚症は近年提唱された疾患概念で、(1) ジューリング疱疹状皮膚炎様の臨床的特徴、(2) リンパ球、好酸球、好中球の様々な組み合わせの浸潤をとともなう表皮下水疱/浮腫と液状変性という病理組織学的特徴、(3) ジアフェニルスルホンの内服やステロイド外用によく反応する良性の疾患経過、(4) C3 と C5b-C9 の顆粒状沈着（他の補体成分の沈着はない）、(5) 蛍光抗体間接法、免疫ブロット法、ELISA 法などの検査法で患者血清中に自己抗体は検出されない、という特徴があります。本研究は、顆粒状 C3 皮膚症の疾患概念の確立と病態解明を目的としています。

多くの病気の原因は遺伝子の最終産物であるタンパク質の異常によって起こっているため、病気の原因となるタンパク質の発見が最重要課題です。このタンパク質を網羅的に解析する手法がプロテオミクスであり、特に病気の原因となるタンパク質の発見にはヒトの血液、尿、組織などの臨床材料を用いたプロテオミクス研究が不可欠です。

本研究では、最新のプロテオミクス技術を使い、ヒトの血液や皮膚組織などの臨床材料から顆粒状 C3 皮膚症の診断や治療に有用なタンパク質を発見することを目的としています。

研究実施期間

この研究課題の研究期間は 2026 年 3 月 22 日までです。

研究の方法

【研究対象者】

和歌山県立医科大学皮膚科、大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学、神戸大学大学院医学研究科皮膚科学、川崎医科大学皮膚科学、久留米大学医学部皮膚科学で顆粒状 C3 皮膚症、類天疱瘡などの皮膚水疱性疾患と診断を受けられた方

【本研究課題で利用する試料・情報の項目】

血液、皮膚組織

【研究方法の概要】

和歌山県立医科大学皮膚科、大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学、神戸大学大学院医学研究科皮膚科学、川崎医科大学皮膚科学、久留米大学医学部皮膚科学で採取された研究対象者の血液、皮膚組織サンプルから、医薬基盤・健康・栄養研究所プロテオームリサーチプロジェクトにおいてタンパク質を抽出し、質量分析計を使ってタンパク質解析を行います。遺伝子解析は実施しません。

試料・情報の提供について

試料は宅急便で医薬基盤・健康・栄養研究所に送られます。試料は、医薬基盤・健康・栄養研究所のみの利用とします。

個人情報の取り扱い

個人情報は和歌山県立医科大学で匿名化されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所では、個人情報は扱いません。

また、研究成果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定できないようにします。

お問い合わせ先

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト

プロジェクトリーダー 足立 淳

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8

電話：072-641-9811 内線 3209

和歌山県立医科大学皮膚科 教授 神人 正寿

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1

電話：073-441-0661